

＜私案＞生き方探究教育で育てる【４領域８の力】に関わるキャリア発達課題（例）

キャリア発達の 時期と目標 生き方探究教育で 育てたい 【４領域８の力】		保育所・幼稚園	小学校			中学校	高等学校
		（人間関係の基礎を つくる時期）	（勤労観の基礎形成の時期）			（職業に対する 現実的探索の時期）	（職業観の確立と 社会への移行の時期）
		* 楽しく遊ぶことから自分の できることを探す。	< １・２年 > * 自分の役割に興味をもつ。	< ３・４年 > * 自分の役割に責任をもつ。 * 身近な地域に様々な仕事がある ことを知る。	< ５・６年 > * 自己を認め、将来の夢のイメ ージをつくる。 * 働くことの大切さや苦労や喜 びを知る。	* 自分自身の将来の夢や課題を を見つけ、職業体験に取り組 み、将来の夢や職業について の関心・意欲を高める。	* 職業観・勤労観を確立させ、 将来設計の立案と社会への移 行を図る。
社会 人とともに 生きる力	①人間関係形成能力	◆友だちと仲良く遊ぶ。 ◆気持ちの良いあいさつや返事を する。 ◆話を最後まで聞く。	◆友だちの良さに気づく。 ◆お世話になった人に感謝する。 ◆自分の考えや思いを伝えたり、 他者の話を聞いたりする。	◆お互いの良さを認める。 ◆自分の生活を支えている人に感 謝する。 ◆協力して、学習や活動に取り組 む。	◆自分と異なる考えを理解する。 ◆人の優しさや思いやりを理解す る。 ◆相手の立場に立って考え、行動 する。	◆お互いの個性を尊重し、他者の 長所や感情を理解する。 ◆人間関係の大切さを理解し、積 極的に関係を築く。 ◆マナーや社会常識を理解する。	◆他者の個性や価値観を理解し、 受け入れる。 ◆相手や場に応じたコミュニケー ションを図る。 ◆役割に応じた力を発揮し、チー ムワークを高める。
	②社会参画能力	◆集団に入る。 ◆集団や家庭の中で、自分のでき ることを探す。	◆友だちや集団とともに行動する ことの楽しさを知る。 ◆集団や家族の役に立つ喜びを知 る。	◆身近な集団の中での役割を考 え、行動する。 ◆地域の活動や家庭内で、自分が できる仕事を、責任をもってす る。	◆所属する集団や家庭のためにで きることや役割を考え、行動す る。 ◆身近な消費生活を中心に、経済 のしくみを知る。	◆集団の中での自分の役割を把握 し、積極的に行動する。 ◆生活と経済活動の関連や金融の 働きについて理解する。	◆社会に対して負う責任や役割を 理解し、行動する。 ◆職業人・社会人・国際人として の社会参加の意義を理解する。
自律 自分を 知る力	③自己理解能力	◆自分の好きなことやしたいこと がわかる。 ◆自分の思いをもつ。	◆自分の得意なことを見つけ、大 切にする。 ◆自分の思いや考えが言える。	◆自分の良さを知り、得意なこと を伸ばす。 ◆自分らしさを大切にする。	◆自分の長がわかり、長所を伸 ばし、短所を改善しようと努力 する。 ◆自分の興味・関心の傾向に気づ く。	◆自分の長所と将来の目標を結び つけて、方向性を考える。 ◆自己の職業的能力や適性を理解 する。	◆自分の可能性を考え、将来設計 や進路計画を見直し、その実現 をめざす。 ◆自己の職業的能力や適性を理解 し、伸ばす。
	④自己管理能力	◆良いと思うことを進んでする。 ◆約束を守る。 ◆基本的生活習慣を身につける。 （食事・睡眠・排泄・清潔・衣 類の着脱・片づけ・あいさつな ど）	◆良いことと悪いことがわかる。 ◆約束や時間を守る。 ◆基本的生活習慣を身につける。	◆自分のやりたいこと、良いと思 うことを考え、行動する。 ◆きまりや規則がわかり、しては いけないことや我慢しなければ ならないことを自制する。 ◆基本的生活習慣を見直す。	◆自分の行動について自己判断・ 自己決定し、主体的に行動す る。 ◆ルールやマナーを考えて行動す る。 ◆基本的生活習慣を改善する。	◆社会規範やマナーなどの必要性 を理解する。 ◆悩みやストレスをコントロール し、それらの問題を前向きにと らえ、克服する。	◆社会規範やマナーなどの必要性 を理解し、習得する。 ◆本能や外部からの誘惑を抑え、 理性に従って行動する。
課題 解決する 力	⑤課題発見能力	◆自分でできることを見つける。 ◆遊びや遊び方を決める。	◆自分と集団との関わりの中から 課題を見つける。 ◆自分で課題を選ぶ。	◆自分をとりまく地域社会の中か ら課題を見つける。 ◆根拠をもって課題を選ぶ。	◆世の中に目を向け、自分の興味 や能力に応じた課題を設定す る。 ◆根拠をもって課題を選び、それ を整理する。	◆自分の役割を果たしていく上での 課題を設定する。	◆進路希望の実現やより良い生き 方をめざす上での課題を設定す る。
	⑥課題解決能力	◆自分でできることをやってみ る。 ◆自分なりに工夫して遊ぶ。	◆知りたいことや興味のあること を本や図鑑でさがす。 ◆わからないことを尋ねながら、 解決する。	◆見学したり、話を聞いたりし て、情報を集める。 ◆自分の力で解決しようと努力す る。	◆インタビューしたり、ICTを活 用したりして、必要な情報を集 める。 ◆多様な方法を考え、主体的に解 決する。	◆計画を立て、解決策を検討す る。 ◆様々な調査をしたり、資料を活 用したりして、主体的に解決す る。	◆適切な計画を立て、多様な解決 策を検討する。 ◆収集した情報を多面的に分析・ 処理し、効率よく解決する。
つく 夢や 希望を 力	⑦役割認識能力	◆当番や係などの役割を知る。 ◆身近な仕事に興味・関心をも つ。	◆様々な役割があることを知る。 ◆身近で働く人々の様子がわか る。	◆役割や分担の必要性がわかる。 ◆係の仕事などを通して、働くこ との大切さや楽しさがわかる。	◆進んで役割を受けもち、責任を 果たそうとする。 ◆職場見学などを通して、働くこ との大切さや苦労がわかる。	◆自分の役割を自覚し、その責任 を果たす。 ◆体験を通して、多様な立場や役 割、職業や生き方、勤労の意義 や働く人々の様々な思いを理解 する。	◆職業の社会的役割や意義を理解 し、生き方を考える。 ◆自分なりの価値観や勤労観・職 業観をもつ。
	⑧将来設計能力	◆準備や片づけをする。 ◆したいことやなりたい姿を思い 描く。	◆学習や生活の目標を立てる。	◆目標や計画を立てることの必要 性がわかり、自分に合った目標 や計画を立てる。	◆振り返りに基づいて、より高い 自己目標をもち、先を見通して 計画的に行動する。	◆学んでいることが自分の進路や 将来の生き方に関わることを理 解し、今できることを行う。	◆将来設計に基づいて、今学べ きことやするべきことを理解 し、実行する。

※中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）」にある、「キャリア教育で育成する主要能力（基礎的・汎用的能力）」を加味した上で、「京都市キャリア教育スタンダード 生き方探究教育 概要編」にある、「共生と自立を柱とする５つの領域と１７の力の学習プログラム枠組み（例）」を改編し、作成した。

＜作成：京都市総合教育センター 研究課 河野由佳＞